

戦略的宇宙基本計画の策定と実効ある推進体制の整備を求める(概要)

宇宙開発利用の現状と課題

1. 戦略的宇宙開発利用の重要性

- 宇宙はイノベーション創出を促し、国家の政策目標達成に有効なツールを提供
(気象観測、測位、通信・放送、外交関係強化、安全保障)
- 宇宙産業は宇宙開発利用を根底で支える重要な産業(6兆円を超える規模)
- ⇒**宇宙開発利用をいっそう推進するため、宇宙産業の振興に関する明確なターゲットを設定し、戦略的に取組みを進めていくことが必要**

2. 宇宙開発利用を巡る状況

- 安全保障利用面での制約と科学技術・研究開発への特化
- 財政危機による宇宙予算削減と、それに伴う企業の技術基盤崩壊の危機

↓
宇宙基本法の成立(2008年5月)

⇒**研究開発・産業振興・安全保障・外交等を目的とした宇宙開発利用の推進**

3. わが国の宇宙開発利用推進に向けた課題

- (1) 宇宙基本法に基づく施策の推進と予算の拡充
 - ・宇宙関係予算の大幅な拡充(2009年度予算案では前年度比10%増の3,480億円)
- (2) 宇宙開発利用推進のための基盤強化
 - ①企業の技術基盤確保、②インフラ整備、③高度な科学技術・研究開発能力の維持
- (3) 産業競争力強化
 - ①日米衛星調達協定の廃止と官民の緊密な連携、②宇宙分野への企業の新規参入
- (4) 安全保障・外交分野での利用
 - ①最先端の宇宙技術を活用した国民の安全・安心確保、②発展途上国への宇宙機器やサービスの提供
- (5) 人類の夢や希望への貢献

今後の宇宙開発利用推進へ向けて

4. 宇宙基本計画への要望

- (i) 国家戦略としての宇宙開発利用推進、(ii) 具体的政策目標の提示
- (iii) 調達量・予算規模の明示、(iv) 実施時期の明示

- (1) 宇宙産業の基盤維持と国際競争力強化
 - ①アンカー・テナンシーの確立、②企業の国際的事業展開に対する支援(政府首脳によるトップセールス)
 - ③産業競争力強化を目的とした官民連携、④企業の競争環境整備(衛星やロケットのラインアップ化等)
- (2) 宇宙利用の拡大
 - ①観測データの利用促進、②通信・測位衛星システムの整備
 - ③安全保障分野での積極的な利用(早期警戒衛星・電波傍受衛星等の防衛専用衛星の導入)
 - ④ODAを活用した宇宙外交と国際協力
- (3) 広報・教育

5. 宇宙開発利用に関する体制・法制的整備

- (1) 宇宙開発利用を推進するための体制整備
 - ①宇宙開発戦略本部の総合調整権限強化(特別予算枠の創設も検討)、②本部事務局のあり方の検討
 - ③宇宙関係機関の見直し(ユーザ官庁のJAXAへの関与拡大、宇宙開発委員会の役割変更等)
- (2) 宇宙活動に関する法制
 - ・事業者が積極的に事業を行うための環境整備(民間への優遇融資等)